

日商簿記

ベテラン講師が完全マンツーマン指導

【経理の基礎】経理の基礎を身につけ、推薦入試も経理補助も一歩先へ

日商簿記 3 級は、基礎的な簿記の知識を証明でき、経理補助として仕訳入力を行う仕事に必要な基礎力を養い、就職を目指す方にも役立つ内容となっています。また商業高校や大学進学を目指す学生の推薦に有利になるため学生にも人気があります。

初心者からはじめる日商簿記 3 級試験対策講座

おすすめポイント

初心者の方でも安心して学べる充実の内容！基礎から丁寧に解説し、仕訳・帳簿記入・決算まで、合格に必要なスキルを完全サポート。実践的な問題演習で理解を深めながら、自信を持って試験に挑めます。

受講期間目安

2コマ × 週2回 約2か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 6,930円
 コース合計 231,000円

30コマ 合計 254,430円(税込)

PINPOINT 日商簿記 3 級

3 級を独学で学習したけどどうしてもよくわからない方、なかなか 3 級に合格できない方、2 級の合格を目指しているが 3 級の内容をあまりよく理解していない方におすすめ。

10コマ
88,000円

【経理の即戦力】経理・事務の即戦力！実務で活かせるスキルを手に入れる

日商簿記 2 級は、税理士事務所や経理事務といった実務に直結する仕事を目指す方に最も需要があります。企業が経理担当者として 2 級取得を求めるケースも多く、内定時に「簿記 2 級を取得しておくように」と指示されることも珍しくありません。2 級は商業簿記だけでなく工業簿記の知識も学べるため、実際の業務に即したスキルが身につきます。

日商簿記 2 級試験対策講座

おすすめポイント

日商簿記 2 級は、経理や事務職で即戦力となる実務スキルを学べる人気の資格です。しかし近年、試験範囲が広がり独学での対策が難しくなっています。本コースでは、経験豊富なベテラン講師が効率的かつ的確な試験対策を提供。苦手分野を克服しながら合格を目指せます。

受講期間目安

2コマ × 週2回 約4か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 12,320円
 コース合計 495,000円

60コマ 合計 523,820円(税込)

PINPOINT 日商簿記 2 級

工業簿記の原価計算や商業簿記の税効果会計・連結財務諸表など、範囲が広く難易度が高い部分のみをピンポイントで学習したい方向けの講座。あと少し点数を伸ばしたい方におすすめ。

10コマ
99,000円

【専門職への登竜門】税理士・公認会計士を目指すなら必須の資格！

日商簿記 1 級は、難易度が高く、大学推薦や高度な専門職を目指す方にとって重要な資格です。日商簿記 1 級は税理士や公認会計士を目指す方にとって必須とも言える資格であり、深い専門知識と高い実務能力を証明するものです。

日商簿記 1 級試験対策講座

おすすめポイント

日商簿記 1 級試験対策講座は、マンツーマン指導だからこそ、仕事をしながら効率よく学べる贅沢なコースです。1 級は試験範囲が非常に広く、連結会計や企業結合、原価計算の応用など、難易度の高い内容が含まれるため、独学では対応が難しいと言われる。

受講期間目安

2コマ × 週2回 約9か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 34,100円
 コース合計 1,232,000円

140コマ 合計 1,282,600円(税込)

PINPOINT 日商簿記 1 級

自分の苦手な部分を直接マンツーマンで指導を受けたい方におすすめの講座。学校で一通り学習しているが W スケールで通われる方も多く、10 コマ単位で受講可能。

10コマ
110,000円

日商簿記 3 級コース

日商簿記 2 級コース

日商簿記 1 級コース

建設業経理士

建設業経理士の有資格者が在籍する企業は、経営事項審査（公共工事の入札に必要な審査）で評価点が加算されます。特に、1級取得者がいることで企業全体の競争力が高まります。

建設業経理士試験対策コース

建設業経理の基礎を習得。公共工事を支える第一歩

建設業界特有の基礎的な会計処理を学びます。仕訳や帳簿の作成方法を理解することで、経理未経験の方や新人が現場で活躍する土台を築けます。

初心者からはじめる建設業経理事務士検定3級講座

おすすめポイント

建設業特有の会計処理を学ぶ資格で、仕訳や帳簿作成が問われますが、専門用語や原価計算の理解が初心者には難しいことも。実務経験豊富な講師が丁寧に指導し、苦手克服をサポートします。

受講期間目安

2コマ×週2回 約2か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 3,300円
 コース合計 231,000円

30コマ 合計 250,800円(税込)

PINPOINT 建設業経理士検定3級

建設業経理士3級を独学で学習したがどうしても理解できない方、なかなか合格できない方、2級の合格を目指しているが3級の内容を十分に理解していない方におすすめ。

10コマ
88,000円

即戦力の証明！公共工事での評価アップにもつながるスキル

2級は、原価計算や決算処理など、実務に直結したスキルを習得します。現場ごとの原価管理や工事ごとの利益計算を理解することで、経理担当者としての即戦力が証明できます。さらに、経審での評価を向上させ、企業の入札競争力を高める資格です。

建設業経理士検定2級講座

おすすめポイント

建設業特有の原価計算や決算処理を学び、実務で即戦力となるスキルを習得できる資格です。工事ごとの原価管理や複雑な会計処理など、難易度が高いとされています。実務経験豊富な講師が指導し合格を目指します。

受講期間目安

2コマ×週2回 約5か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 6,600円
 コース合計 412,500円

50コマ 合計 435,600円(税込)

PINPOINT 建設業経理士検定2級

建設業経理士2級の試験で重要な、工事ごとの原価計算や財務諸表作成など、範囲が広く難易度が高い部分をピンポイントで学習したい方向け。あと少し点数を伸ばして合格を目指す方におすすめ。

10コマ
99,000円

経営の柱に！公共工事での評価を大きく引き上げる資格

1級は、連結会計や財務諸表の分析といった高度な知識を学び、企業経営に直接貢献できる資格です。経審での大幅な加点に加え、経理部門の管理職や経営層を目指す方にとって不可欠なスキルを提供します。財務戦略を理解し、企業全体を支える経理プロフェッショナルを目指せます。

建設業経理士検定1級講座

おすすめポイント

建設業特有の高度な会計処理や財務分析、連結会計、工事別原価計算や企業結合会計などの複雑な計算は、多くの受験者が苦戦するポイントです。難易度の高い内容をマンツーマンで徹底的に学べます。

受講期間目安

2コマ×週2回 約8か月
 入学金 16,500円
 テキスト代 7,700円
 コース合計 704,000円

80コマ 合計 728,200円(税込)

PINPOINT 建設業経理士検定1級

苦手な部分をマンツーマンで学習したい方におすすめ。特に工事別原価計算や財務分析、企業結合会計が難しい方に最適でWスクール利用者も多い講座。

10コマ
110,000円

電子会計実務検定試験

電子会計実務検定試験は、会計ソフトを活用した経理スキルを証明する資格です。3級は基本操作を学び初心者にも最適、2級は帳簿作成や決算書出力の実務力を習得、1級は経営分析や高度な管理スキルを学べます。IT化が進む経理業務に対応し、即戦力やキャリアアップを目指す方におすすめです。

資格 電子会計実務検定試験 3級

会計ソフトを使って仕訳入力や試算表作成を学び、経理の基礎をしっかり習得できます。初めての方でも取り組みやすく、勘定科目や帳簿の連動処理を実践的に学べる内容です。

20コマ 154,000円 (税込)

資格 電子会計実務検定試験 2級

総勘定元帳や決算書の作成を通じて、実務に直結するスキルを磨きます。補助簿や未処理項目の設定にも対応できるようになり、スキルアップを目指す方に最適です。

30コマ 247,500円 (税込)

資格 電子会計実務検定試験 1級

部門別帳簿管理や財務分析、経営戦略に活かすデータ出力を学びます。高度なデータ分析スキルを実践的に習得し、経理のプロフェッショナルを目指す講座です。

50コマ 440,000円 (税込)

FP技能検定

FP技能検定は、資産運用や保険、相続など生活に役立つ知識を学べる資格です。3級は基礎的な資産管理を学び初心者にも最適、2級は実務スキルが身につく金融や保険業界で評価されます。1級では高度な専門知識を習得し、独立や経営者向け提案が可能です。生活の充実やキャリアアップに直結する資格です。

資格 FP技能検定 3級

ファイナンシャル・プランニングの基礎を学ぶ初級資格です。個人の家計管理や生活設計に役立つ知識を習得でき、初心者や学生、自己啓発を目指す方に最適です。

20コマ 154,000円 (税込)

資格 FP技能検定 2級

ライフプランニング、保険設計、資産運用、相続対策など、より具体的で実践的な内容を学びます。金融、不動産、保険業界で働く方や、個人のお客様の相談対応を行う方におすすめです。

30コマ 247,500円 (税込)

資格 FP技能検定 1級

資産運用や相続設計、リスク管理、税務戦略などを深く学び、企業経営者や富裕層を対象とした複雑な相談にも対応可能です。コンサルタントや独立系FPとして活躍を目指す方におすすめです。

50コマ 440,000円 (税込)

全経簿記検定上級

全経簿記検定（全国経理教育協会主催）の上級試験は、高度な会計知識と実務スキルを証明する資格で、全経簿記検定の最上位資格です。商業簿記や工業簿記をはじめ、財務諸表の作成や財務分析、企業会計基準に基づいた高度な会計処理が求められます。

全経簿記検定上級

おすすめポイント

建設業特有の高度な会計処理や財務分析、連結会計、工事別原価計算や企業結合会計などの複雑な計算は、多くの受験者が苦戦するポイントです。難易度の高い内容をマンツーマンで徹底的に学べます。

受講期間目安

2コマ × 週2回 約6か月

入学金 16,500円

テキスト代 9,900円

コース合計 880,000円

100コマ 合計 906,400円 (税込)

PINPOINT 全経簿記検定上級

特に難しいのは、原価計算や会計学の理論問題。苦手な分野をマンツーマンで徹底指導し、Wスクールでの利用もおすすめ。

30コマ
330,000円

受講生のストーリー

Story

30代男性

受講期間：5ヶ月間

運送業から経理事務へ転職するため簿記2級を勉強
簿記3級は自分で勉強を開始していたものの…

来校のきっかけ

体験レッスン申込

運送業に勤めているAさんは、今の仕事から転職して経理事務に就きたいと思い簿記2級を取得するために勉強を始めました。以前から自分で簿記3級の勉強をしていたので少しは進めやすいだろうと思っていましたが新しい試験範囲の知識はあまり頭に入っておらず、どうしようか悩んでいました。

効率よく勉強を進めたいし、できれば就職の相談もできるようなスクールはないか探していました。資料を見て、授業の仕方と就職活動の進め方などの相談に乗ってくれるということだったので、思い切ってソフトキャンパスの体験授業を受けてみることにしました。

無料カウンセリング&体験授業

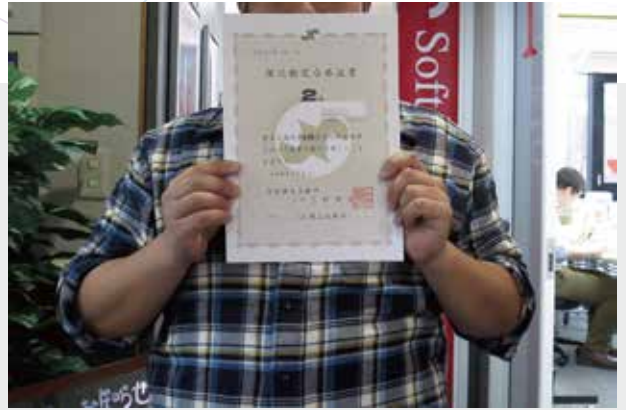
- 簿記の基礎の「五要素」は覚えられているが細かい「仕訳」のルールなどは不明確
- 3級受験を6月、2級受験を11月に設定（来店3月、試験6月）
- 自宅では予習を中心に勉強して授業では分からなかった所を確認
- 勉強のスケジュールを立てるのが苦手。細かく宿題を出し次回授業で確認する
- シフト制の仕事で通える時間がばらばら。授業前後で自習をする

受講スケジュール

- 入校** 試験の1ヶ月前までに教科書を終わらせる計画
授業でやったことを確認、問題をこなして復習(宿題)
- 試験対策強化** 5月からは試験対策問題を中心に行う
※過去問題を1~2周
※予想対策問題は最後の2週間で終わらせる
- 自習スケジュール確認** 自宅学習のスケジュールも一緒にたて、復習する時間の確保をする
- 商業簿記強化** 2級に進むので3級の商業簿記の勉強も2級を意識しながら進める
- 合格** 3級試験終了後、11月の2級受験までのスケジュールを担当講師と確認

講師からのコメント

Aさんは、自分で勉強していた内容にむらがありました。飲みこみはとても早く基礎的な考え方はすぐに身につけられました。ただ、最近の出題傾向は全く知らなかったため、実践問題になると急に点数を取れなくなります。問題集での練習に比重を置いている方が陥りやすい現象ですね。テキストを進めている間は予習、試験対策は実践問題の復習と、方向性を切り替えて、次回までに何を勉強してきてもらいたいかをしっかり伝えるようにしました。自分で勉強している時に解けるようになってきたと実感してもらえよう、授業の進め方を意識して合格まで指導させていただきました。



とにかく宿題が嫌だったので、「自分でちゃんと復習をして」と言われたら勉強できないだろうと初めから思っていました。体験授業をした時に、自分の独学で勉強した知識に穴があるという説明をしてきて、「自分で勉強するのであれば、練習問題のこの問題を、時間を測って解いた方がいい」と明確にしてくれたことに驚き、この学校で勉強してみようと思いました。やはり授業でも細かい指示で宿題を出してくれるので、自分で考えて勉強を進めることが苦手な自分にとっては先生の宿題の出し方は非常にありがたかったです。細かいサポートが無ければ合格できなかったと思いますし、そもそも通い続けられたかも怪しいです。

無事に3級に合格して、2級を勉強している途中でうまく転職ができたのも先生方のバックアップのおかげだと思っています。怠けそうになると厳しく指摘してくれたり、合格のために必要なことは妥協せず教えてくれた先生のおかげで新しい職場でも頑張れそうです!ありがとうございました。



簿記試験の合格メソッド



1

Method

通うペース、宿題のペースを明確にし、勉強する体制を作り上げる

受験を控えている勉強はまず勉強をする体制作りから始まります。特に社会人は時間が不安定なためペースづくりが合格までのカギとなります。もちろん仕事や家庭の事情でイレギュラーは必ずありますが、挽回できるスケジュールを組みなおし微調整を常にし続けながら進んでいきます。そのために入校時には進捗のスケジュールをしっかりと決めてどのくらいのペースで通い、どのくらいのペースで宿題をこなし、どのくらいのペースで試験対策に入るのかなどをしっかりと確認します。

2

Method

教科書の勉強は本番の試験の1か月前には終了

教科書を進めながら小問題で問題を解くこと、漢字、文章問題を解く練習をします。簿記は専門用語が多く本番の試験はいわば応用問題です。何を聞かれて何を計算しないといけないのかを即時に判断していく必要があります。小問題で問題苦手部分をみつけ対策をどのように立てていくかを決めながら前に進んでいきます。

3

Method

生徒の進捗管理は専用カルテとスキル確認でWで行う

進捗管理は専用カルテがあり、授業がどこまで進んだか、どんなところで躓いて、どんな宿題を出したかなどが事細かに書かれています。仮に別の講師が入ったとしても詳細部分までわかるようになっており、さらに進捗のペースや管理は担当が責任をもって行う体制になっています。

センテンスごとにスキルチェックを行い、点数が十分に取れていなければ補講や宿題などで対策を立てながら進んでいきます。

4

Method

苦手は補講問題でクリアし続ける

苦手問題はだれにでもあります。なかなか納得できなくて苦しむ人もたくさんいます。そんな時は講師が自分で専用の問題を用意しどうしてその問題が理解できないかをしっかりレクチャーします。

時には受験に関係ないことも出てきますがそんな時は合格したければこう考えなさいとし試験に合格するまでのアドバイスをしっかりします。簿記をしっかりと理解したいのと合格できるメソッドは違います。受験を考える人はまずは合格まで走り抜けましょう。

5

Method

直前対策、試験テクニックを身に付け合格まで勝ち取る

試験までいよいよ1か月前になったら問題を解くテクニックに重点が置かれます。もちろん問題を解く順番や時間配分などごと細かく指導がされます。

どうしても人は順番に解いていきたいと感じてしまうものですが受験テクニックはそうとも限りません。受験テクニックは、頭で聞いても実際に自分の体に染み込ませる必要があります。しっかりと受験テクニックを染み込ませて合格をかちとりましょう。